

# 新政治運動

新政治運動の新政治組織＝バンド  
ネットワークからバンドへ

新政治運動リーダー  
首藤信彦

# バンド(*Band*)による新政治運動

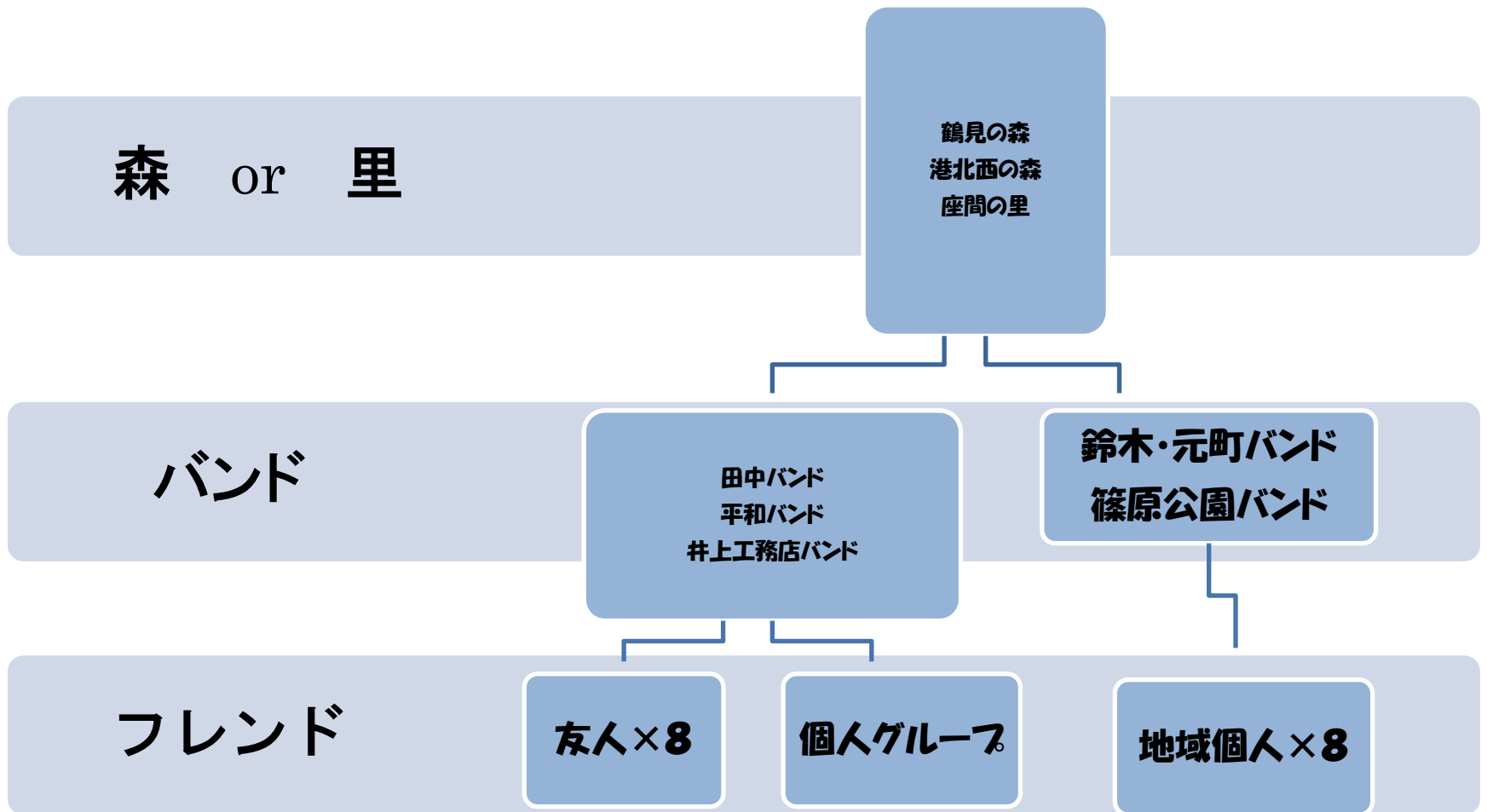
- 「新政治運動」を担う基礎単位として、  
「バンド: 覚醒した市民による、共通の意思を持ち行動する小集団」を提起したい。

個人はいかに優れた見識と高い政治参加の意思をもっていても、それだけで政治的に行動するエネルギーになれない。仲間を募り、「共通の意思」を持った「行動」する「小集団」であるバンドを「新政治運動」の最小単位、基礎単位とする。

# バンドとは何か？

- バンド(Band)とは人類が最初に作った「共通の意思を持ち行動する小集団」を意味する。人類の先祖は厳しい自然環境を生き抜くためにバンドを作って森に狩猟に入り、荒野に道を作った。
- 経営学者のピーター・ドラッカーは脱産業社会の組織はオーケストラ(大規模・一人の指揮者)からバンド(少数・多機能・運営参加)へと組織転換を呼びかけた。
- 幕末、西欧近代文明の中心がキリスト教にあると考えた志士は、聖書の漢訳を頼りに、禁教にもかかわらず勝手に布教活動を開始し、地域ごとに横浜バンド、札幌バンド(後の札幌大学)、熊本バンド(後の同志社大学)を名乗って活動した。

# 新政治運動のバンド組織図



# バンドからの意思決定

- 個人はフレンド(友達・職場仲間など)8人をつのってバンドを作る。バンドが新政治運動の基礎単位となる。名称は各自考える。
- バンドがいくつか集まって、地域の協議体を作る。これを「森」「里」のような名称にする。
- 森や里は地域の啓蒙、政策の是非などに責任を持つ。
- 森や里の代表者は執行部に参加する。

# バンドが法案の賛否を決定

- 新政治運動の議員は、法案をインターネットで説明し、各バンドがそれに基づいて、議案掲示板に賛否を掲載する。その結果はリアルタイムで表示される。
- 議員はその結果に従って議会で賛否を意思表示する。
- 一般のバンドの理解と、執行部および議員との見解の相違が大きいときは、別途ルールおよび苦情委員会を設ける。

# U25バンド創設

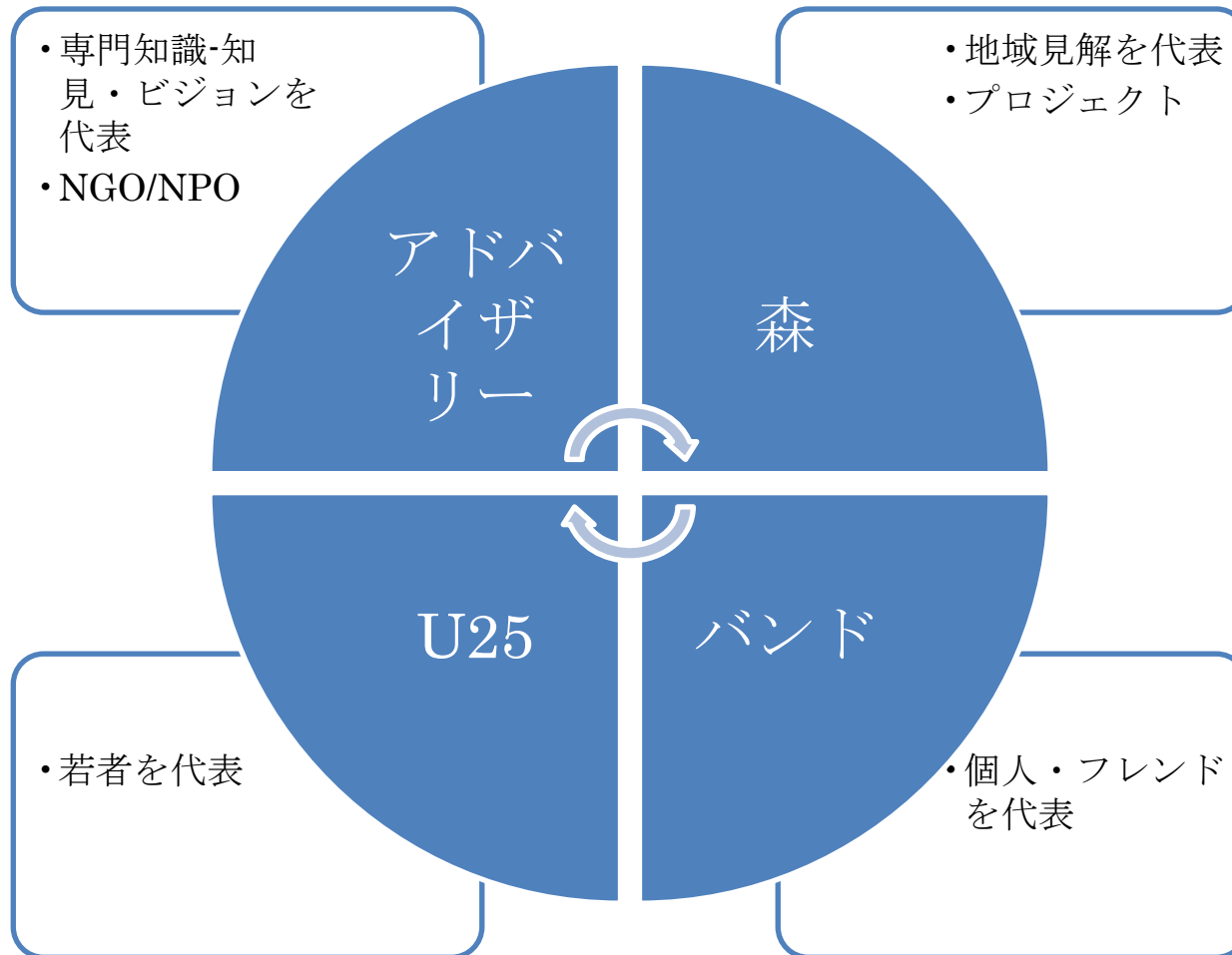
- これまでも政党の下部組織としての青年部が設けられたが、単に「若者の意見を聞く」式のジェスチャーにとどまった。「新政治運動」は、運営委員会と平行して次世代バンドU25を設置する。責任者は執行部運営委員として組織の方向性や意思決定に関与する。25歳以下の組織とする意味は、参加者が25歳になれば、自ら地方政治に立候補して政治のアクターとなることを推奨するためである。

# アドバイザリ・グループ

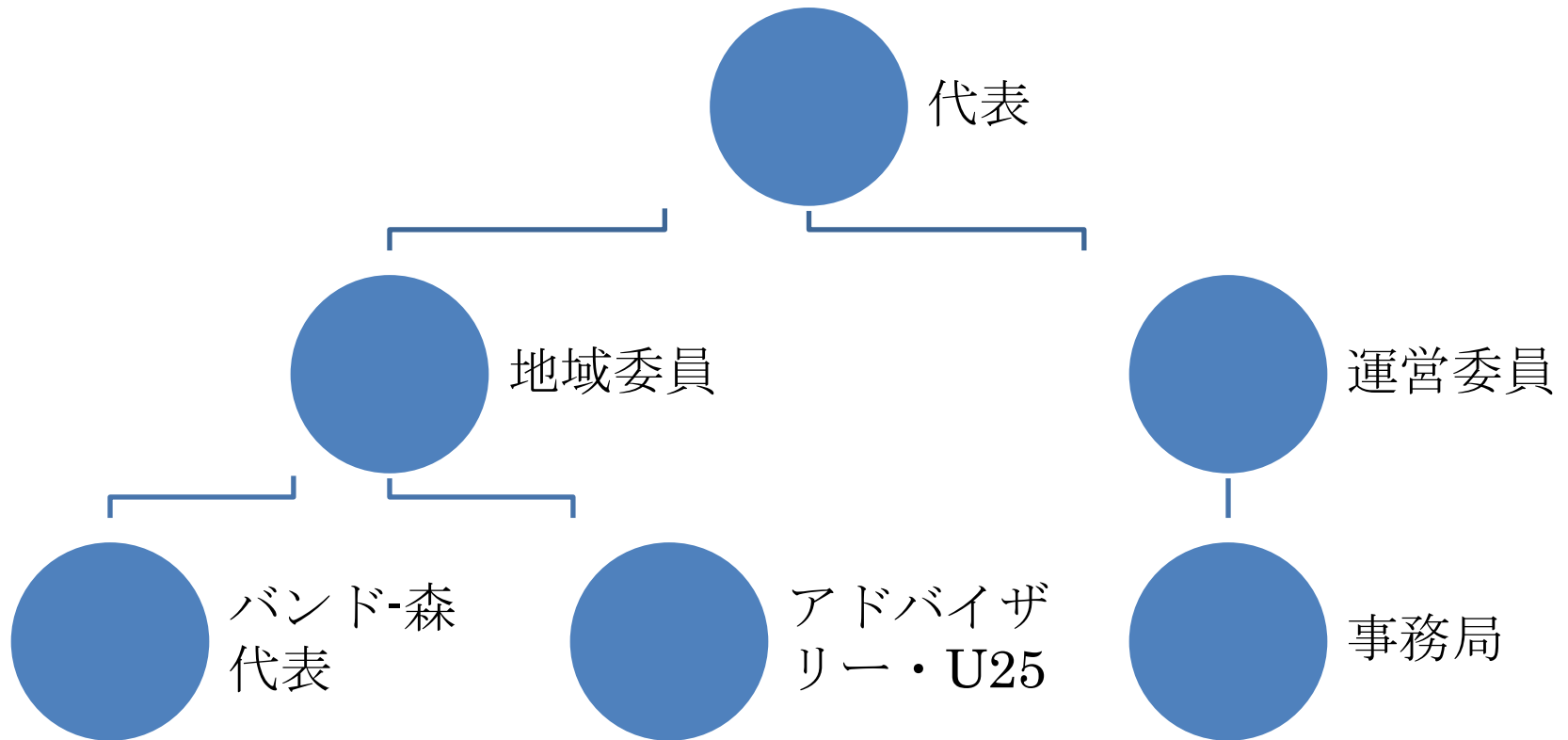
- 新政治運動の執行部に平行してアドバイザリ・グループを形成する。
- アドバイザリ代表は新政治運動リーダーに直接アドバイスする。
- アドバイザリ・グループは研究者、実務家などよりなり、新政治運動の方向性、提言や法案の作成にアドバイスする。シンクタンク機能を持たせる。



# 新政治運動組織全体図



# 意思決定チャート



# 各組織の権限と活動

責任関係	リーダー	運営委員会	アドバイザー	森	U25	バンド	個人
決定	○						
戦略	○	○	○	○	○		
運営	○	○	○	○		○	
政策・法案	○	○	○	○	○	○	
会議他	○	○		○	○	○	○

組織単位の担当・責任関係

# 意思決定のフロー

全体図

